

第2 教育研究団体の意見・評価

○ 全国歴史教育研究協議会

(代表者 高野 修一 会員数 約16,200人)

TEL 042-582-2511

1 前文

『令和8年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト問題作成方針』(以下、『共通テスト問題作成方針』)には、「歴史に関わる事象を多面的・多角的に考察，構想する過程を重視する。用語などを含めた個別の事実等に関する知識のみならず，歴史に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連等について，歴史的な見方・考え方を働かせながら，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，課題の解決を視野に入れて構想したりする力を求める。問題の作成に当たっては，事象に関する深い理解を伴った知識を活用して，例えば，教科書等で扱われていない資料であっても，そこから得られる情報と授業で学んだ知識を関連付ける問題や，仮説を立てて資料に基づき根拠を示したり検証したりする問題，時代や地域を超えて特定のテーマについて考察する問題などを含めて検討する。」と記載がある。初見の資料から必要な情報を読み取り，授業で学んだ知識と関連付けて考えさせる問題や会話文やノート・パネルから読み取った内容をもとに知識を土台として考えさせる問題など、『共通テスト問題作成方針』に即した思考力や判断力を評価する出題が多くみられる。また，時代や地域を超えて特定のテーマについて考察する大問があり，全体的に共通テスト問題作成方針に即した問題が多い印象を受けた。問題全体の難易度は，基礎的な学習の到達度を幅広く問う標準的な問題となっている。

以下，今年度の「歴史総合」と「世界史探究」の共通テスト追・再試験について，限られた紙面の中ではあるが，今後の御検討の一助になることを期待して，本協議会の意見と評価を記す。

2 試験問題の程度・設問数・配点・形式等への評価

大問数5問，小問数32問構成，試験時間は60分間で，配点は100点満点であり，昨年度と同様。大問数と小問数及び配点は，第1問が小問数8問で配点25点，第2問が小問数6問で配点18点，第3問が小問数6問で配点18点，第4問が小問数7問で配点21点，第5問が小問数5問で配点18点であった。また，第1問は「歴史総合」が出題され，「地理歴史・公民②」の『地理総合／歴史総合／公共』の第1問と共通の出題である。

出題を正解の選択肢を基に判断し時代別に見ると，第1問の「歴史総合」については，「近代化と私たち」から3問，「国際秩序の変化や大衆化と私たち」からは3問，「グローバル化と私たち」からは2問であり，昨年度と大差はない。第2問から第5問の「世界史探究」については，古代に関する出題が3問，中世史(5～14世紀)が7問，近世史(15～17世紀)が3問，近代史(18～19世紀)が5問，現代史(20世紀以降)が1問，うち戦後史が1問，複数時代混合が5問である。昨年度と比較すると，中世史や複数時代混合からの出題が増加した。

地域別に見ると，第1問の「歴史総合」については，アジア(日本も含めた東アジア・内陸アジア・南アジア・東南アジア・西アジア) アフリカに関する出題が3問，ヨーロッパ(西ヨーロッパ・東ヨーロッパ・ロシア)に関する出題が2問，複数にまたがる出題が3問である。昨年度と比較すると，アジア・アフリカからの出題が減少した。第2問から第5問の「世界史探究」については，アジア(日本も含めた東アジア・内陸アジア・南アジア・東南アジア・西アジア) アフリカに関する出題が7問，ヨーロッパ(西ヨーロッパ・東ヨーロッパ・ロシア)に関する出題が8問，アメリカ(北米・中南米)に関する出題が4

問、複数地域に関わる問題が5問である。昨年度と比較すると、ヨーロッパ史が減少し、アメリカ史が増加した。

出題形式で見ると、正文選択問題が10問（誤文を選ぶ出題は1問）、空欄補充問題が3問（うち、地図を活用した問題が1問）、空欄補充と正文選択とを組み合わせる問題が5問、地図を活用した問題が1問、年代整序問題が2問、リード文や資料から読み取った内容をもとに選択する問題が12問出題され、昨年度と同様に全ての大問で史料文、地図、表、文献や図版などの資料が提示されていた。その中でも特に、図版や史料・グラフなどの内容を読み取って解答する問題は12問であった。

『共通テスト問題作成方針』における(2)地理歴史に明示されている、教科書等で扱われていない資料であっても、そこから得られる情報と授業で学んだ知識を関連付ける問題が大問1の間5、大問2の間2・6、大問3の間2、大問4の間2・5、大問5の間2・3の8題、時代や地域を超えて特定のテーマについて考察したりする問題が大問1の間6、大問5の間4・5の3題、仮説を立てて資料に基づき根拠を示したり検証したりする問題が大問1の間8、大問3の間4の2題である。また、知識のみを図る問題が32問中6問、知識を前提に思考を図る問題が32問中26問である。以下、『共通テスト問題作成方針』を踏まえ、本試験の分析と同様の観点で問題を検討する。

第1問 「人々にとっての様々な戦争経験」

Aは、「近代における軍隊と人々の関係」についての会話文を基にした出題である。

問1 空欄 **ア** はプロイセン首相の名を問う基本的な知識を問うており、空欄 **イ** はフランスとドイツの徴兵制が国民国家の形成に伴い確立されたことを会話文から読み取り、正しい組合せを選択させる基礎的な問題である。

問2 西南戦争において士族を徴集すべきかをめぐる政府内での論争について岩倉具視と木戸孝允の意見を読み、正文を選択させる問題。問題文に「前の会話文を参考にしつつ」と記載があるが、会話文には解答につながるヒントは見当たらない。

問3 空欄 **ウ** は基本的な知識を問うており、空欄 **エ** はノートの内容から戦争協力の理由を読み取り、正しい組合せを選択させる基礎的な問題である。

問4 甲午農民戦争の性格と同様の性格を持つ他の事例とその事例が起こった地図中のおおよその位置として正しい組合せを選択させる問題。会話文や資料などはなく、地図のみで基礎的な知識を図る問題である。

Bは、「現代の戦争が各地の社会にもたらした影響」について探究している場面を基にした出題である。

問5 空欄 **オ** に入る文は大西洋憲章の内容について基本的な知識を問うており、風刺画が描くチャーチルの考えは誰のための大西洋憲章かについて風刺画から読み取り、正しい組合せを選択させる基礎的な問題である。

問6 日本とアメリカ合衆国における女性の労働について、資料とグラフから読み取れる事柄や背景として正しい文を選択させる基礎的な問題である。

問7 3つのメモの年代整序問題で基礎的な知識を問うている。

問8 「現代の戦争が人々に与えた影響」という主題を探究するための2つの課題と各課題を考察するための資料の正しい組合せを選択させる基礎的な問題である。

第2問 「時代による建築物や都市空間の持つ意味や利用方法の変化」

Aは、中国河北省に11世紀に建設された定州開元寺塔について作成したパネルや図を基にした出題である。

問1 中国における仏教の歴史に関連する3つの出来事を年代順に正しく並べる問題。基本的な知

識を問うた問題である。

問2 パネルにある「敵」について述べた文と地図中の定州の位置の正しい組合せを選択させる基礎的な問題。

Bは、ローマにあるサンタンジェロ城についての会話文を基にした出題である。

問3 ローマで5世紀頃から徐々に城塞化が進んだ背景と会話文中の空欄「ア」に入る人物(ピピン)の事績の正しい組合せを選択させる基礎的な問題である。

問4 資料が記述している事件の政治的背景について正文を選択させる標準的な問題。

Cは、トラテロルコ広場の写真について会話している場面を基にした出題である。

問5 空欄「イ」は都市名を問うており、空欄「ウ」はアステカ文明が入ると会話文から読み取り、正しい組合せを選択させる基礎的な問題である。

問6 トラテロルコ広場がある国(メキシコ)について述べた文の正しい組合せを選択させる問題。

問題文に「会話文を参考にしつつ」とあるように、会話文の内容を関連付けて解答を導く。

第3問 「人物や時代、出来事の評価や解釈の変化」

Aは、古代ギリシアの民主政をテーマに会話している場面を基にした出題である。

問1 空欄「ア」は資料をもとにソクラテスへの評価、空欄「イ」は会話文をもとにペロポネソス戦争が入ると導き、その戦争に関して述べた文の正しい組合せを選択させる基礎的な問題である。

問2 民主政期のアテネで起きた出来事について述べた文の二文正誤問題。問題文に「前の文章を参考にしつつ」とあるように、教科書等で扱われていない資料であっても、会話文から得られる情報と授業で学んだ知識を関連付ける出題であり、高校での学習内容を踏まえた基礎的な知識を問う問題である。

Bは、中世という言葉について会話をしている場面を基にした出題である。

問3 ペートルカとヴォルテールについて正文を選択させる基礎的な知識を問う問題である。

問4 ノートを基に中世の社会や文化の特徴について探究するための2つの課題と各課題を考察するための事例の正しい組合せを選択させる基礎的な問題である。

Cは、インド大反乱について会話をしている場面を基にした出題である。

問5 資料(『1857年独立戦争』と題する本の一節)が書かれた時代背景の誤文を選択させる基礎的な問題である。

問6 インド大反乱の歴史とその解釈について述べた3つのメモの正誤を判断し、正しい組合せを選択させる基礎的な問題。問題文に「前の文章を参考にしつつ」とあるように、基礎的な知識を土台としながら、会話文から読み取った情報を関連付けさせている。

第4問 「世界史上における知識や情報の伝播」

Aは、イスラーム圏における知識や情報の伝播に関する出題である。

問1 空欄「ア」は『大旅行記(三大陸周遊記)』の著者(イブン=バトゥータ)について正文を選択させる基礎的な知識を問う問題である。

問2 空欄「イ」に入る文と地図上からトゥワイジンの埋葬地の正しい組合せを選択させる標準的な問題。

Bは、ヨーロッパの情報が日本へどのように伝播したかについての会話文を基にした出題である。

問3 資料で紹介されている戦争(スペイン継承戦争)の背景や経緯についての正文を選択させる基礎的な問題である。

問4 空欄「ウ」はイグナティウス=ロヨラらにより設立された組織についての基礎的な知識が問われており、その活動について述べた文も同様に基本的な知識を問うており、正しい組合せを選択させる基礎的な問題である。

Cは，情報伝達技術の歴史についてまとめたパネルを基にした出題である。

問5 パネルから読み取れることの正文を選択させる問題である。

問6 空欄「**工**」に入る語句の具体的な事例の正文を選択させる問題。空欄「**工**」に入る語句は「グレート・ゲーム」であるが，この語句が分からずとも，19世紀から20世紀初頭のイギリスとロシア間の対立の事例を選択すればよく，基礎的な知識を問う問題である。

問7 世界史上の情報や技術の伝播を調査するための課題として正しい文を選択させる問題。課題として適切かを考察させるのではなく，基礎的な知識のみを問うているところに改善の余地がある。

第5問 「経済活動と社会の変化」

問1 朝鮮半島における中国商人の活動に関する資料とノートを基にした出題である。空欄「**ア**」に入る貨幣の写真を選択させ，空欄「**イ**」に入る文を資料の内容をもとに考察させ，正しい組合せを選択させる基礎的な問題。

問2 北米大陸におけるイギリスやフランスの経済活動が先住民社会にもたらした変化についてまとめたノートの記述や図をもとに正文を選択させる問題。

問3 ブルージーンズの歴史についてまとめたノートの記述やグラフをもとに正文を選択させる問題である。

問4 空欄「**ウ**」はオランダ東インド会社の交易拠点となった港市の名，空欄「**エ**」はパネルの内容をもとに考察させ，正しい組合せを選択させる基礎的な問題である。

問5 「経済活動と社会の変化」に関する新たなスライドの内容をもとにした出題。各班の取り上げた事例との類似点について正文を選択させる問題であり，昨年度も最後に同様の形式が出題された。

3 総評・まとめ

昨年度に初めて『歴史総合，世界史探究』として出題され，昨年度と同様に多様な資料，図版，図表，データ，場面設定などを組み合わせた出題形式であった。また，出題年代は昨年度が近代・現代に偏りがあったものの，今年度は中世からの出題も増加して改善が見られ，今後もこのような出題が継続されることを願っている。

4 今後の共通テストへの要望

「歴史総合」が出題されるようになり2年目を迎えた。昨年も指摘させていただいたが，歴史総合の教科書は世界史探究の教科書以上に記述内容の差が大きい。そのため，学んだ教科書によって不利・有利が生じることがないように，出題の際には，用語の厳選など一層のご配慮を願いたい。また，本試験の分析報告でも指摘したが，『共通テスト問題作成方針』における(2)地理歴史に明示されている，教科書等で扱われていない資料であっても，そこから得られる情報と授業で学んだ知識を関連付ける問題や，時代や地域を超えて特定のテーマについて考察したりする問題，仮説を立てて資料に基づき根拠を示したり検証したりする問題は，知識だけでなく歴史的な考察を踏まえ解答することが求められる。

しかしながら，こうした考察は本来十分な時間を費やしてなされるべきものであり，時間に追われる中でなされるべきものではない。受験者の歴史的思考力を適切に測るためにも，より一層の問題を厳選し，思考をめぐらせる時間を確保していくことをご検討いただきたい。

最後に，問題作成という重責を担われご尽力なされた方々に，心からの感謝を申し上げ，本報告の結びとする。